

警察庁

高解像度衛星画像解析システムの運用

事業期間（平成12年度～）

令和5年度予算額217百万円（令和4年度予算額218百万円）

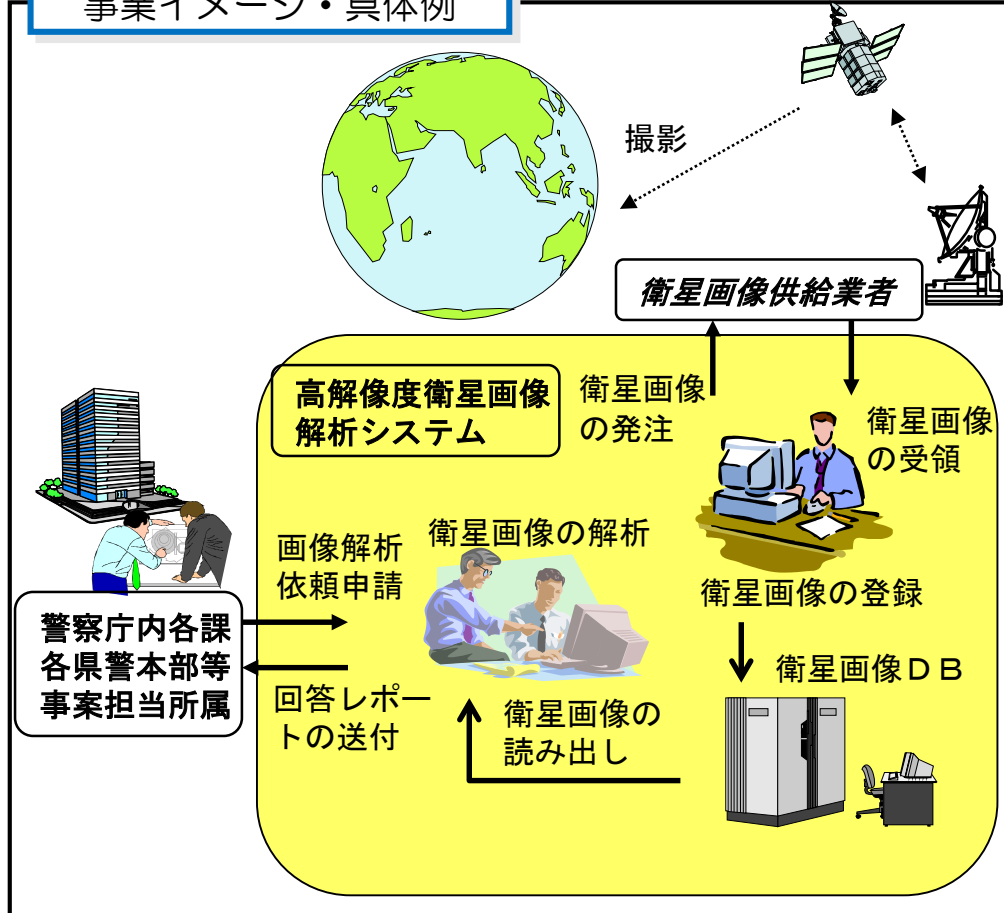
事業概要・目的

- 目的
商用衛星の衛星画像データを各種警察活動に活用します。
- 事業内容
衛星画像供給業者から購入した衛星画像を、高解像度衛星画像解析システムを用いて解析し、各種警察活動に活用します。

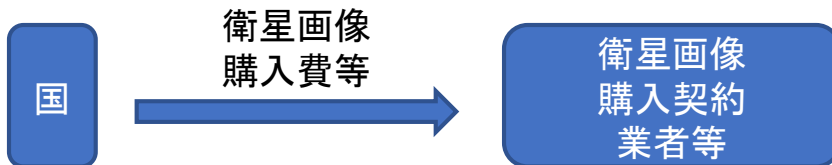
画像解析の主な例

- ① 経年変化状況の特定等
過去の撮影画像で、当時の状況、経年変化等を把握
- ② 必要な情報の付加
画像上に主要な駅、道路等の地図情報や距離情報を付加
- ③ 面積の計測や鳥瞰図の作成
画像上の範囲の面積を計測、基礎地図情報を活用し鳥瞰図を作成

事業イメージ・具体例



資金の流れ



期待される効果

- 衛星画像を高解像度衛星画像解析システムを用いて解析し、活用することにより、各種警察活動の効率化等が期待できます。

通信衛星の使用

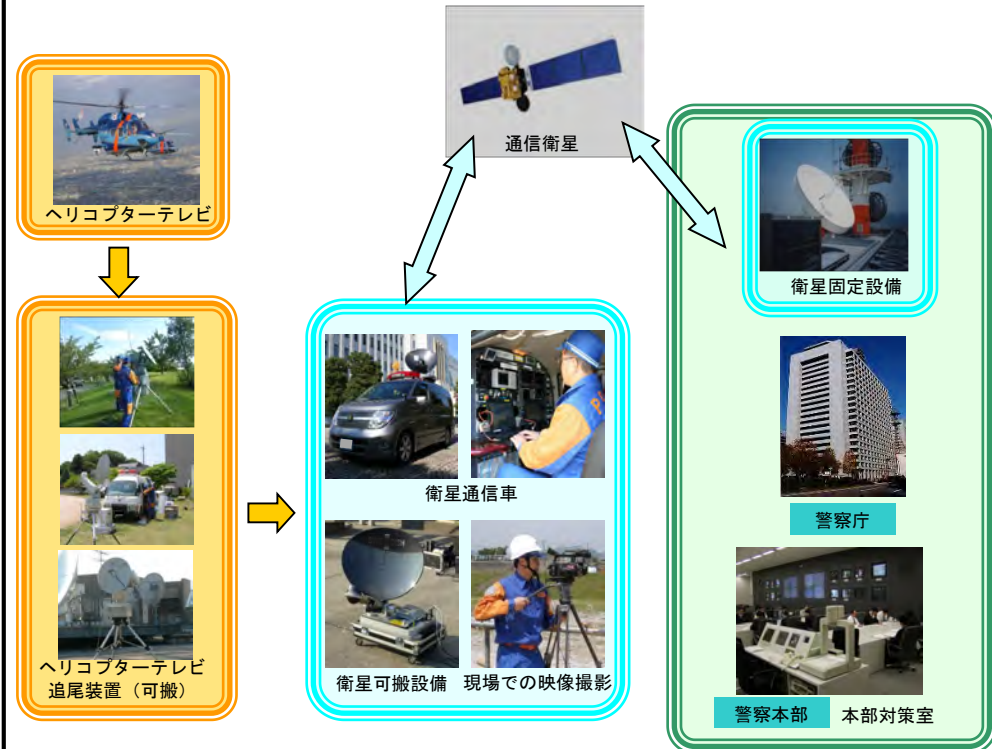
令和5年度予算額554百万円（令和4年度予算額549百万円）

警察庁

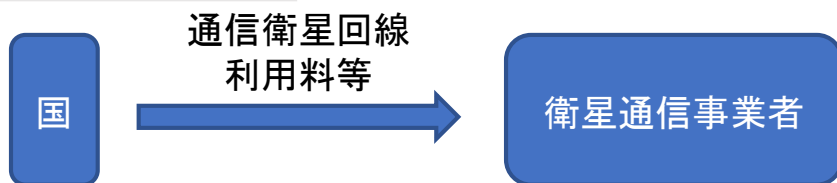
事業概要・目的

- 目的
通信衛星の中継器を使用して伝送された現場映像等を各種警察活動に活用します。
- 事業内容
警察では、大規模な災害や事故等の現場状況を的確に把握するため、カメラやヘリコプターテレビシステムにより撮影された映像を、関係警察本部、警察庁等に伝送しています。これらの映像は、首相官邸にも伝送することが可能であり、政府の初動対応にも役立てられています。
当該活動のため、全国の警察本部等に衛星固定設備や衛星可搬設備を、管区警察局等に衛星通信車を整備しており、衛星通信の特徴である広域性、同報性、耐災害性を活かし、衛星通信を災害現場等からの映像伝送回線や臨時電話回線として使用しています。

事業イメージ・具体例



資金の流れ



期待される効果

- 台風、地震や大雨等の災害が発生した場合に通信衛星を使用し、被災状況の把握、被災者の避難誘導等に必要な映像を、警察庁、首相官邸、災害警備本部等にリアルタイムで伝送した多くの実績から、引き続き災害警備等の各種警察活動への活用が期待できます。